

血液内科・小児科に過去に通院・入院されたことのある  
患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 芽球様形質細胞様樹状細胞腫瘍の分子病理学的検討

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 病院長 南須原康行

[研究責任者所属・氏名] 北海道大学病院血液内科・小野澤 真弘

[研究の目的] 芽球様形質細胞様樹状細胞腫瘍の病態を明らかにするため。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2010年4月1日から2022年3月31日までに、北海道大学病院血液内科（旧血液内科I、第二内科、第三内科も含む）、小児科で診断された芽球様形質細胞様樹状細胞腫瘍の患者さん

●利用する検体・カルテ情報

検体：生検または手術にて摘出された腫瘍組織のホルマリン固定・パラフィン包埋  
検体の未染標本・凍結保存検体

情報：

- ① 診断時年齢、誕生年月、性別、診断日、M蛋白の種類
- ② 診断時の検査成績
  - ・ヘモグロビン値、血清アルブミン値、血清クレアチニン値、血清カルシウム値、血清β2マイクログロブリン値
  - ・血清IgG、IgA、IgM、(IgD)の測定値および施設正常下限値
  - ・FLC比（血清遊離κ鎖値および遊離λ鎖値）
  - ・尿中Bence Jones蛋白の有無、および陽性の場合には尿中M蛋白の1日量
  - ・骨髄中の全有核細胞に占める形質細胞の割合
  - ・骨髄細胞の染色体検査（G-banding法、FISH法）の結果
  - ・骨髄形質細胞の表面抗原解析の結果
  - ・骨病変の有無
- ③ 症候性骨髄腫への進行の有無、および進行した場合はその期日と症候の内容
- ④ 抗骨髄腫治療の有無、および実施した場合はその期日と治療を要した理由
- ⑤ 最終診察日、および治療後の経過など

[個人情報の取り扱い]

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

\*上記の研究に検体・情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道大学病院血液内科 小野澤 真弘  
〒060-8638 札幌市北区北 15 条西 7 丁目  
電話 011-706-7214 FAX 011-706-7823